

# こんなことあったよ！レポート

平成20年12月3日(水)～ すみれ会

ほっとステーションをデコレーション編



風の松原で集めてきたツルと格闘開始。



なかなか思い描いた形にならず、みんなで力を合わせて円を作ります



常盤のスギの葉を骨組みに差し込み、布テープで巻いて固定。思い思いのもので飾りつけをしていきます。

## その1

09年12月3日、「上町ほっとステーション」に飾るクリスマス・リースづくりのため、リースの骨格となるアケビのツルを採りに、車2台で風の松原へ出かけました。小雨の混じるあいにくの空模様でしたが、散策路から少し入った林の中で、枯れたツルを木の幹や枝から外していくうちに体がポカポカと温まってくるのを感じ、作業が終わるころには肌寒さもどこかへ飛んでしまったようでした。

身近にありすぎてあまり普段は意識することのない風の松原に、こんなにも豊かな自然があったのだなあと、ふるさとの一面を発見することができました。

## その2

上町すみれ会クリスマスイベントの一環として、12月9日の午後、「上町ほっとステーション」でジャンボリースづくりを行いました(参加人数6名)。能代でいちばん大きなリースを作ろうと、風の松原でどっさり取ってきたアケビのつるや、常盤ときめき隊の小林さんに届けていただいた常盤の杉の葉、会員の家で眠っていた古いクリスマス飾りや包装用リボン、100円ショップで買ったクリスマス小物などを使ってのリースづくりとなりました。工程は以下の通りです。

(1) 太めのアケビのつるでリースの骨組みをつくる。ワイヤー・麻ひもを使い、骨組みの形を直径130cm・太さ20cm程度の大きさに成形。この作業は、はねかえってくるつるの扱いが難しく、力のいる作業でした。

(2) リースの下の方から杉の葉を左右に巻き上げるように差し込んでいき、30cm程度の太さに整え、グリーン用の布テープで杉の葉を安定させる。

(3) グリーンのリースの上と下に大ぶりのポインセチアの造花をアクセントにして、それぞれが思い思いに飾りつけていく。完成品のできればは上々で、やればできるんだねと、喜び合いました。

(4) ほっとステーション入り口に、木の椅子に飾り終えたリースを乗せ、背面の杉塀に吊り下げるように固定して完了。木目も鮮やかな秋田杉の塀によく調和しました。このジャンボリースは、25日まで飾られました。



能代で一番大きなリースが完成。道行く人の視線も足も止まりました。



クリスマスリースが能代で一番大きなお正月飾りにも変身。



華やかな玉飾りのディスプレイも行いました。



まわりのお店のウィンドウも同じような玉飾りでコーディネート。

### その3

クリスマスデコの第2弾として、12月12日、クリスマスツリー用にと市内の中田さんよりいただいた杉の若木を飾らせていただきました。大ぶりのツリーはジャンボリースとあいまって、「ほっとステーション」が一気に華やいだ雰囲気にも包まれ、とても素敵な空間になりました。道行く人も足を止め、ベンチに腰かける人、店内に入ってじっくりと見ていく人と、大勢の方に見てもらうことができ、「こういうのも、いいもんだね」などと声をかけて頂きました。

さらに、商店街の各店ごとのショーウィンドウにも、ミニツリーや生花のアレンジメント、クリスマスグッズのぬいぐるみなどが飾られ、こちらも好評でした。

### おまけに

気をよくして、クリスマスの次は正月飾りにも挑戦しました。ジャンボリースからクリスマス用の飾りを取り外し、正月飾りのしめ縄をリースの上部に据え、そのまわりに正月グッズを飾りつけ、リース中央に「賀正」の凧を飾って改装完了。手前ミソながら、なかなかの仕上がりになりました。

また、クリスマスツリーを撤去した大鉢には、常盤ときめき隊の小林さんからいただいた大きめの雑木の枝を据えて、紅白の玉飾りを中心とした正月飾り（折り紙の鶴、紙風船、小箱やお年玉袋などを糸でつなげたもの）約100本を枝から吊り下げました。可愛らしい正月飾りがいかにもめでたく、華やかで、通りかかる人たちにたいそう珍しがられ喜ばれました。

少し手間はかかりましたが、分担してやればさほどでもなく、手づくりの感じもなかなかいいと、すみれ会員も少し自信をつけたかな…？

文：相澤レイ子



今年は色々なほっとステーションの使い方にもチャレンジした一年でした。また来年もみんなで楽しく頑張りたいですね。